図書館だより9月号

日高高校・附属中学校図書館

とうとう9月がやってきました。それなのに、まだまだ暑いですね。怖い本でも読んで鳥肌を立ててみませんか。映画もホラーが大人気で、どれもこれも背筋がゾクゾクする話ばかりです。活字で味わう怖い話は、自分の想像が膨らむので、映画とは全然違う怖さを体験できます。ぜひ、ホラーの世界に足を踏み入れてください。

図書館の使い方

開館時間　月～金　8:30～16:30

長期休みの開館日、時間は
図書館だよりで連絡します

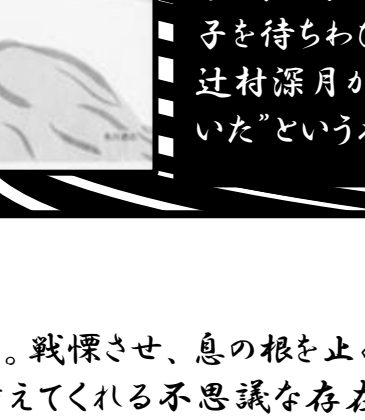
貸出期間　2週間　貸出冊数5冊まで

リクエスト・予約制度あります

まだまだ暑いから～怖い本、あります

『近畿地方のある場所について』
背筋　著

はじめまして。背筋と申します。この本に収録されている様々な形式の文章は、オカルト雑誌に掲載する特集のために、ライターの私と、編集者で友人でもある小沢くんの手によって収集されたものです。それらは、近畿地方の「ある場所」に関連した文章です。私たちは、「ある場所」に潜む怪異の存在に気づきました。そして、調べを進める中で小沢くんが消息を絶ってしまいました。私は彼を捜しています。どうか皆さんこの本をお読みいただき、情報をお持ちの方はご連絡ください。



『きのうの影踏み』
辻村深月著

どうか女の子の霊が現れますように。おばさんとその子が、会えますように。交通事故で亡くした子を待ちわびる母の願いは祈りになった――。辻村深月が”怖くて好きなものを全部入れて書いた”という本格怪談集。

『怖ガラセ屋サン』
澤村伊智　著

誰かを怖がらせてほしい。戦慄させ、息の根を止めてほしい。そんな願いを考えてくれる不思議な存在――。「怖ガラセ屋サン」が、あの手この手で、恐怖をナメたヤツらを闇に引きずりこむ！
怪談は作りものだと笑う人、不安や恐怖に付け込む人、いじめを隠す子供、自分には恐ろしいことは起こらないと思い込んでいる人……。
こんなヤツらに、一瞬の恐怖なんて生ぬるい！
気づいたときは、あとの祭り。”怖がらなかったこと”を、後悔させてあげる――。
一話ごとに「まさか！」の戦慄が走る、連作短編集。

『私の家では何も起こらない』
恩田陸著

私たちが今いるこの場所は、過去に何か事件が起きた場所かもしれない。何気なく見上げた木の枝に、首吊り死体がぶら下がっていたかもしれない。今、立っているこの床に血の海が広がっていたかもしれない。そんな場所の持つ記憶へ幽霊が私たちをいざないます。恐怖の記憶、覗いてみて下さい。

本の検索はコチラから

日高図書館の本を探す

NEWS

図書館にモニターが6台導入されました！皆さんのタブレットをつなげて大きな画面にすることができるので、グループワークにも便利です！もちろんひとりで使ってもいいですよ～
自由に好きなときに使ってください。

司書の編集後記

とうとう9月がやってきました。9月が終わるとこの年度も半分済んでしまったことになります。4月からの6ヶ月、あなたは何かを成し遂げましたか。新年度に立てた目標に少しずつ近づきましたか。2学期の始業式で校長先生がおっしゃっていた、やらなければならないことは分かっているのに、動けないことがある、という言葉、皆さんの胸に刺さりましたか。私にはど真ん中に刺さりました。気がつくと夜になっていた、気がつくと一週間が過ぎていた、今日やろうと思っていたのに、全然終わっていなかった、ということをずっと繰り返し、9月を迎えてしまいました……皆さんは時間は無限にあると思い込む若さを持っています。しかし、それは幻想です。1年生の皆さん、気がついたら3年生になっていますよ～3年生の皆さん、あと半年で卒業なんて、信じられないですよね。まだまだ暑いから夏と勘違いして油断してはいけません。高校生のうちにやろうと思っていたこと、今から始めてください。